

「勇気づけのピアノレッスン」

No.5

＝子どもの可能性を引き出す指導とは＝

今回は「共感することの大切さ」について、もう少し詳しくお伝えしていきたいです。さて、三人の男子の母親でもある私は、子育てについても、保護者の方から質問や相談を受けることがあります。「子どもが私（親）の言うことを聞かないんです」「どうしたら、子どもが自主的になりますか?」「子どもの能力を伸ばしてあげたいと思うのですが、どうしたら良いかわかりません。」等。私も自分自身が悩みながら子育てをしてきたので、その心境はとてよく理解できます。けれども、それらの悩みのほとんどは、アドラー心理学を学ぶと自ずと解決できます。ピアノの生徒を教えるのも子育ても、実は根本的なことは同じだと私は常々考えています。子どもは可能性の塊です。ただ、その伸ばし方にはちょっとしたコツがあると思うのです。アドラーはそのポイントを明確にしてくれます。

松井美香

音楽家・音楽指導者・教育カウンセラー・
勇気づけマスター・「藤沢勇気づけの会」代表

<Facebook><https://www.facebook.com/mika.matsui.94>
<ブログタイトル>
～子どもから学ぶ～
「勇気づけの親子コミュニケーション」
URL : <http://ameblo.jp/makeeachangewithlove/>

＝共感することの本当の意味＝

「子どもの声を真剣に聴く」ことが、子どもを伸ばす第一歩であるとお伝えしましたが、それは、子どもの言い訳を鵜呑みにするという意味ではありません。あくまでも「子どもの気持ちに寄り添う」ことであると私は考えています。たとえば子どもの言葉が自分に納得のいく内容でなかったとしても、そこで口を挟んだり、ジャッジしたりすることなく、子どもの気持ちになって共感すること。一度、丸ごと受け入れるということです。最初は難しく感じるかもしれませんが、意識次第で必ずできるようになります。「共感」は「自分は受け入れてもらえている、愛されているという安心感」でもあります。そして、これを実践する日々の地道な積み重ねこそが、子どもとの信頼関係を築きあげていくのだと思います。信頼関係があれば子どもは素直におとなの言うことに耳を傾けるようになります。子どもたちの本当の望みは、「ピアノを上手に弾けるようになりたい」であって、決して「怠けたい」ではないと思うのです。子どもたちが、なりたい自分に近づくことができるようサポートすることが私たちおとなの重要な役目なのではないでしょうか。子どもの豊かな創造力や発想力や感性は、周りのおとなの心がけや言葉かけで無限に広げられると、私は実践の中で子どもたちに教えられました。

学研 おんがく通信

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

Web版も
ある★
バックナンバーが
閲覧できる!
Webならではの
情報が満載!

7 月号

2014
年
6
月
25
日

Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

5月号から2ヶ月経ちました。レッスンの進み具合はいかがですか? 私最近、ピアノに触ってみました。以前、ピアノを習っていたので感覚を思い出しつつ弾いたら突き指しそうになりました。頭ではメロディが流れているのに! またチャレンジしてみます。ちなみに、私の日記はストップしました。(お)

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭 2014 に行ってきました!

「ゴールデンウィーク」「東京」といえば、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(LFJ)! 東京国際フォーラムを中心としたエリアで、第10回目のLFJが開催されました。今回は「祝祭の日」というテーマのもと、10人の作曲家が取り上げられました。(学研おんがく通信 2014年4月号参照) 前夜祭を含めた5/2～5の4日間で、のべ61万人がクラシック音楽を聴いたり、演奏をして楽しみました。その中の1人…!? 私(の)も、前夜祭から最終日まで、LFJを心行くまで楽しませていただきました! 少しだけですが、レポートいたします!

◆ブラームス作曲：ドイツ・レクイエム Op.45 (ピアノ連弾版) ～公演番号 342 / ホールC
◆地下展示ホール—NAXOS JAPAN 「運命と呼ばないで」ブース

指揮：ミシェル・コルボ/演奏：レティツィア・シェレル (ソプラノ)、ファプリス・エヨース (バリトン)、サイモン・サヴォイ (ピアノ)、ニコラ・ファリーヌ (ピアノ)、ローザンヌ音楽アンサンブル

通常は、オーケストラの伴奏と合唱・独唱で演奏される作品ですが、今回はピアノ連弾と合唱・独唱というたいへん珍しい編成でした。包容力のあるピアノ連弾と、柔らかく透明感のある歌声にホール全体が包まれ、美しい響きに、深く感動しました。

・NML (ナクソス・ミュージック・ライブラリー) で聴いてみてください!
→<http://ml.naxos.jp/>

毎年楽しい出展で、会場を大賑わせしているNAXOS JAPAN。今年は4月に発刊したばかりの「ベートーヴェン4コマ劇場 運命と呼ばないで」(小社刊)を全面的に取り上げていただきました! SNS上でも話題となり、連日ブース内は大賑わい。大盛況のうちに終了いたしました。

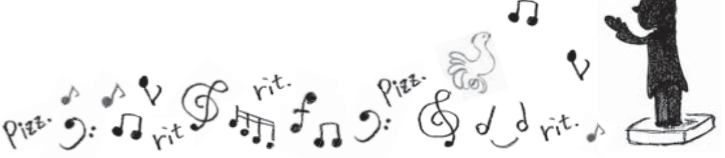
・出展レポート→<http://togetter.com/li/662744>
・「運命と呼ばないで」特設ページ→http://naxos.jp/special/no_unmei

◆「一緒に歌って祝おう LFJ10 回記念」
みんなであうたう《第九》～地下グラーベン広場

指揮：曾我大介/演奏：アマデウス・ソサイエティー管弦楽団、一音入魂合唱団/トークゲスト：高坂はる香

有料公演のチケット半券をお持ちの方が入場できる、地下展示ホール。その中央にステージが生まれ、様々な無料コンサートが開催されました。コンサートの中でもひととき盛り上がったプログラムが、「みんなであうたう《第九》」。客席にも楽譜が配られ、会場全体でベートーヴェンの《第九》を大熱唱いたしました。Freude!

・ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」2014 公式サイト
→http://www.lfj.jp/lfj_2014/
・公式レポートブログ→http://www.lfj.jp/lfj_report/



ひとりで譜読みができますか?

夏休みこそ譜読み定着のチャンス!

もうすぐ夏休み! みなさんはどのような計画を立てていますか? 海? 山? サマーコンサート? とにかく休む?? 生徒さんたちもいろいろな計画があってピアノの練習が不規則になりがちかも。そんな夏休みには、取り組みやすく、学習の習慣化に最適な「はぎとり式ドリル」がオススメです! 一回一枚のはぎとり式は、達成感が味わえるのでやる気もUPです。一度覚えたと思った内容でも、繰り返し学習することで定着していきます。今年の夏は、譜読みの基礎をかためましょう!

はじめてのリズム

39枚

オールカラー

■各：A4判 / 39枚+答え2ページ / オールカラー / 付録つき / 本体価格 900円 (税別)

はじめてのおんぶ

77枚

くりかえす

■各：A4判 / 77枚+答え4ページ / 付録つき / 本体価格 1,000円 (税別)

名曲のたのしみ、吉田秀和

モーツァルト その音楽と生涯

吉田秀和が愛した作曲家、モーツァルト。7年にわたってリスナーに語りかけ、日本のモーツァルト・ファンを育てた一時代の記録である。

第1巻 ■A5判 / 352頁 / 本体 3,200円 (税別)
■CD1枚 解説と音楽の一部が収録されています。

第1巻 好評発売中

今後の発刊予定 (全5巻)

第2巻 第53回～第102回 (1772年～1776年) 7月末予定

第3巻 第103回～第150回 (1777年～1782年) 9月末予定

以降、第4巻・第5巻 順次発売予定

編集部のつぶやいたー!

「人との出会い。」
沢山さん人に会いますが、一期一会の気持ちを忘れていました。
もう少し人の出会いを大切にしてみようと思った今日この頃です。(みー)

Tsubuyaitter.....

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

ピアノの森から 第2回

新コーナー「ピアノの森から」。記念すべき1曲目は、このたび改訂新版が発刊となる「ピアノの森4」に収録される『宇宙探検』*をご紹介します。先ごろも、宇宙ステーション日本人初の船長、若田光一さんの地球帰還がニュースになっていましたが、どんな時代も“宇宙”とか“ロケット”は子供たち、とりわけ男の子にはあこがれの的。いつも“生徒の目線”を心がけていらっしゃる田丸先生らしい、男の子に人気の1曲です♪(か)

*既刊の「ピアノの森4」にも収録されていました。



♪月の沙漠を はるばると 旅の駱駝がゆきました
金と銀との鞍おいて 二つならんでゆきました

JR東京駅から特急で1時間半、外房線の御宿駅（みんぶく）から海岸に向って歩いていくと、太平洋を望む海岸に「月の沙漠記念館」があります。橋を挟んだ向かい側の砂丘には三日月型をした歌碑と、2頭のラクダに乗った王子さまとお姫さまのブロンズ像。作詞家、加藤まさをの業績を記念して建てられたものです。加藤まさをは、明治30年（1897年）静岡県西益津村（現在の藤枝市）出身の画家で、大正時代に隆盛をさわめた児童雑誌『少女画報』や『令女界』などに絵や文章を発表し、竹久夢二、菫谷虹児とともに「抒情画三羽鳥」と呼ばれていました。「月の沙漠」は、大正12年（1923年）3月に『少女倶楽部』に絵とともに掲載されました。特定の場所を描いたものではないということですが、当時の加藤は胸を患い、毎年御宿で静養していましたから、同地の砂浜に着想を得たのかも知れません。「砂漠」をしたのも、水を表す“さんずい”で海岸の砂浜を表現したといわれています。加藤はその後、抒情画、詩以外にも、小説や作曲など幅広いジャンルの作品を残しました。昭和51年（1976年）には、東京の住居を引き払い御宿に転居。翌年、同地で80歳の生涯を閉じました。

一方、『少女倶楽部』を見た作曲家の佐々木すぐるは、加藤の詩に大変感激し、すぐに曲をつけました。しかし作曲家としてまだ無名であった佐々木の作品に耳を傾ける人はいませんでした。そこで佐々木は、「月の沙漠」などの自作を含む童謡をまとめた楽譜『青い鳥楽譜』を自費で制作。それをたずさえて全国の小学校をまわり、音楽教師に童謡を紹介していきます。訪問した学校の数は600を超えたそうです。また「青い鳥児童合唱団」も主宰し、作品を演奏する機会も作っていました。そうした努力が実って、「月の沙漠」は昭和2年（1927年）、JOAK（NHK）から、童謡歌手、安西愛子の歌で初めて全国に流れ、国民的な愛唱歌となって広まっていきました。佐々木はその後も作曲家として活躍。「お山の杉の子」「赤ちゃんのお耳」など、3000曲におよぶ童謡を残しました。（く）

【後記】「月の沙漠」は、「日本の歌百選」や「20世紀の心に残る日本の歌ベスト100」などにも入る名曲で、筆者（く）もよく聞き、よく歌ったものですが、会社の20代から30代の人たちは、誰ひとりこの曲を知りませんでした。なんだかとても淋しい…。

参照：「私の心の歌—夏」（小社刊）

バジル先生の
すぐできる

アレクサンダー・テクニーク 「バジル先生のココロとカラダの相談室」

5月22日に、最新刊『バジル先生のココロとカラダの相談室 吹奏楽指導編』が発売されました。この本では「お悩み相談のページ」、「著名人との対談」とあわせて、「中学・高校吹奏楽部を訪ねて」の体験講座を通じて、実際の指導に役立ててもらおうというページを掲載しています。以前の記事「肩こり腰痛解消エクササイズ」でも紹介した、「頭を動けるようにしてあげて、そうすることで身体全体が動けるようにしてあげつつ楽器を吹いてみる」、というエクササイズも行いました。すると本人は「楽に、軽く吹けている」感覚なのに、「大きくて遠くに響く」音になっているのです。これは管楽器に限ったことではありません。パーカッションでもコントラバスでもピアノでも、身体の強ばりをなくすことで、ラクにはっきり音を出すことができるのです。（バジル・クリツァー）



神奈川県川崎市・高等学校吹奏楽部の講座から

**吹奏楽部員のための
ココロとカラダの相談室
吹奏楽指導編**

■B5判 / 104頁 / 本体価格 1,500円（税別）

楽器演奏編 / メンタルガイド編も
発売中！
お求めは全国の楽器店・書店で！

<アレクサンダー・テクニークについて>
<http://www.alexandertechnique.co.jp/>

<バジル先生のブログ>
<http://basilkritzer.jp/>

つむりの 練習手帳

つむりはいま出ている宿題の曲が、どの本のも嫌い（「あんまり好きじゃない」、って自分では言ってるけど）で、だからあんまり練習したくなくて、だからいつまでたっても〇がもらえない、っていう悪いループにはまっちゃってます。昨日のレッスンも先生にしかられて、泣きながら帰ってきました。ちなみにつむりは泣き虫ですぐ泣きます。（トホホお兄）

つむり現在の楽譜

- ☆こどものハノン④
- ☆ブレ・インベンション
- ☆びあのだりーむ プルグミュラー
25の練習曲
- ☆ル・クーペピアノのアルファベット

レッスンQ&A???

回答してくださったのは
轟 千尋先生

Q. 生徒が一人のできる簡単なアナリーゼの方法はありますか？

A. 頭、目、感覚・生徒さんの得意な読み方にあわせて、
様々な方法を考える事ができます。

生徒さんの数だけ、方法は考えられますが、小学校高学年以上を想定した上で、ほんの一例をご紹介します。

◆方法その1

大きな終止を楽譜の中から見つけ出す。

終止を『自分の力』で見つけ出して、その小節を丁寧に演奏するだけでも、ただ楽譜に書かれた音を弾くだけでは生まれなかった、構成感のある演奏を『自分の力』で作出すことができます。ただし、終止といっても度合いはさまざま。いつも同じようにV度→I度で「終わった！」という感じを出しては音楽が流れません。そこで、転回形やソプラノの音がヒントになります。しっかり終わった感じがするが、次に続いている感じや軽い感じがするかを、ベースやソプラノの音によく耳をすまして、丁寧に感じとりましょう。そして、その終止の「度合い」にあった表情を出す事を目指しましょう。

◆方法その2

主題の性格のコントラストに目を向けてみる。

古典派の楽曲（特にソナタ形式）で、主題が2つある場合、大抵その2つの性格は逆の色合いを持っています。第一主題が軽快であるのに対し、第二主題はなめらかで穏やか、といったように。その主題の性格と違いを感じ、どんな音で弾き分けようか、『自分の力』でイメージすることが出来れば、かなり上出来!!

◆方法その3

どこまでが一息のフレーズなのか、歌って推理してみる。

出来るだけ大きなまとまりで音楽をとらえることは、演奏の上でとても大切なことです。実際に声に出して歌ってみると、どこで息つきをしたいかということが、感覚的にわかる場合があります。まとまりがつかめたら、そのまとまりを一息のフレーズにきかせるためにおおげさに大きなクレッシェンド、ディミヌエンドでまとめてみましょう。フレーズの真ん中あたりを少し大きく、終わりをほんの少し弱くするだけで不思議とひとまとまりに聴こえてきます。慣れてきたら、大きな表情を自然なものに整えていきましょう。

小学校3、4年生頃から始められる事もあると思いますが、もちろんいきなり一人で出来るわけではありません。まずは先生と一緒に楽譜を眺める習慣づくりから始めてみてください。それから徐々にヒントの数を減らしていったり、一つのアプローチを繰り返して慣らせてから「こういうときはどうやるんだっけ？」と“答えさせず投げかけ”を増やすなどして自然と一人で出来るように導いてあげるといいと思います。

今月のあかね先生

あかね先生のレッスン・ルーム⑤

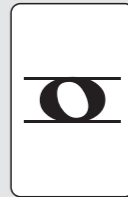
今月は、「おんぶ」のセミナー*から【「せん」と「かん」の覚え方】をご紹介します。五線に並んでいるたくさんの音符たち、これらを視覚的に覚えましょう！というプログラムの第一歩は、線の上にある「せん」、線と線の間にある「かん」の認識です。まずは、音符部分だけを拡大して切り取った「せんカード」と「かんカード」を子どもたちに見せて、それぞれを紹介。次に、子どもたちが大好きな身体を使ったポーズをします。（下図参照）

*「おんぶ」のセミナー：楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン～大譜表の「おんぶカード」を使って～

（図① カード）



せんカード



かんカード

『みんなだいすき!おんぶカード』
『みんなだいすき!おおきなサイズのおんぶカード』より

（図② ポーズ）



このポーズは子どもたちに大人気で、「せん」はシュワッチ!「かん」はガッシャン! などと言いながら、楽しんでいるのだそうです。「せん」「かん」という先生のかけ声に合わせて瞬発的にポーズをとったり、カードに合わせてポーズをとったり、応用していきます。セミナーでは、大の大人が「シュワッチ!」「ガッシャン!」。最初は恥ずかしがっていた方も、あかね先生の「幼児指導は、恥ずかしさを捨てなきゃ!」との言葉に触発されて、思いっきり楽しんでいきます。（いも）

今月のセミナースケジュール

7/1（火）：[栃木県/小山]ヤマハミュージックリテイリング小山店
『ピアノ・テクニックのレッスン法
～初歩からすてきな音をならしましょう～』

7/3（木）：[神奈川県/藤沢]有隣堂戸塚ミュージックサロン・ホール
『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン
～大譜表の「おんぶカード」を使って～』

7/8（火）：[長野県/長野]ホクト文化ホール
『リズムを確実に身につけるためのレッスン-発展編』

7/15（火）：[東京都/多摩]スガナミュージックサロン多摩ホール
『ピアノ・テクニックのレッスン法～すてきな音をならしましょう～』

編集部チョイスおすすめの1曲

ソナチネ Op.36-1 (クレメンティ)
レベル:★★★★☆

掲載楽譜

標準新版ソナチネ・アルバムI
新版 こどものソナチネ1
4期のピアノ名曲集3(CD付き)※第1楽章のみ

「ソナチネ」といえばこの曲!
音符を大きくして見やすくした楽譜や、CD付きなど、さまざまな商品を取り揃えています。

